

S&P 500 ネット・ゼロ 2050 パリ協定準拠気候サステナビリティ・スクリーンド指数のリバランスの結果（2023年3月）



Narottama Bowden

ディレクター、ESG 指数インテリジェンス、指数ガバナンス
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

この資料は、2023年4月11日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語版をご参照下さい。

英語版：[Results from the Recent S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index Rebalance \(March 2023\) – Indexology® Blog | S&P Dow Jones Indices \(indexologyblog.com\)](https://www.indexology.com/blog/s&p-500-net-zero-2050-pari-aligned-sustainability-screened-index-rebalance-march-2023)

Narottama Bowden

S&P 500® ネット・ゼロ 2050 パリ協定準拠気候サステナビリティ・スクリーンド指数の指数マネージャーである Clara Arganaraz が本記事の執筆に貢献しましたので、ここに謝意を表します。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは最近、EU 気候移行ベンチマーク（EU CTB）および EU パリ協定適合ベンチマーク（EU PAB）¹の最低基準を満たすことを目指すすべての指数のリバランスを完了しました。これには、[S&P 500 ネット・ゼロ 2050 パリ協定準拠気候サステナビリティ・スクリーンド指数](#)のリバランスも含まれます。この指数は、S&P 500 の中で適格な株式証券のパフォーマンスを測定するように設計されており、1.5°C の地球温暖化シナリオや、その他の気候目標、環境目標、および持続可能性目標に適合するように銘柄が選択され、ウェイト付けされます。

この指数は、適格性基準に従って持続可能性に関するスクリーニングを行い、構成銘柄の選択とウェイト付けにおいて最適化プロセスを実行することにより、様々な ESG 目標を達成するように設計されています。これにより、全体的な温室効果ガス（二酸化炭素換算の温室効果ガス）排出強度を原指数（[S&P 500](#)）と比べて 50%以上削減しています。この指数の温室効果ガス排出強度の最低脱炭素率は、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の最も意欲的な 1.5°C シナリオによって示唆される水準に合致しており、これは温室効果ガス排出強度を年平均で少なくとも 7%削減することに相当します。

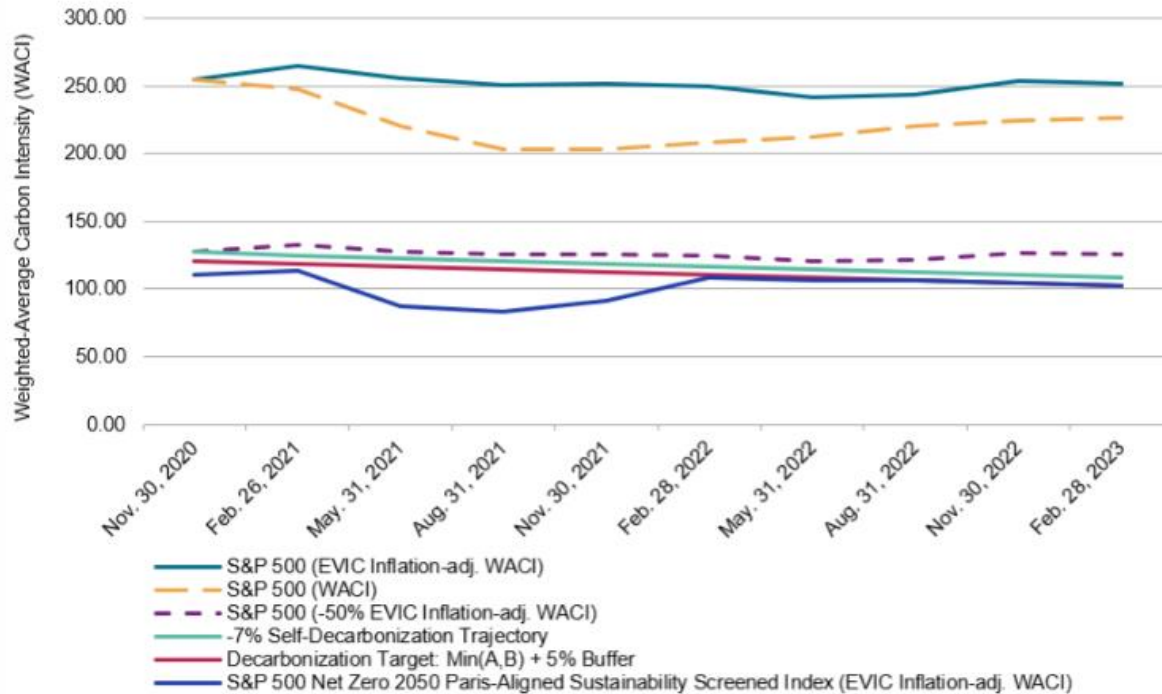
2023年2月28日のリバランス参照日（およびそれ以前のすべてのリバランス）時点において、この指数の「現金を含む企業価値（EVIC）インフレ調整後加重平均炭素強度（WACI）」²は、必要な脱炭素化水準を達成しました。必要な脱炭素化水準とは、リバランス参照日時点における S&P 500 の WACI の半分、または 7%の脱炭素化軌道の WACI のいずれか低い方となります。この指数の EVIC インフレ調整後 WACI は 2023年2月28日のリバランス参照日時点で 102.78 となり、原指数（S&P 500）の EVIC インフレ調整後 WACI を 59.10%下回り、必要な脱炭素化水準を達成しました。

Exhibit 1: Index Decarbonization Performance

Index Rebalance Reference Date	S&P 500 (WACI)	S&P 500 (EVIC Inflation-Adjusted WACI) ³	Target A	Target B	Decarbonization Target: Min(A,B)	Decarbonization Target: Min(A,B) +5% Buffer	S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index (EVIC Inflation-Adjusted WACI)
			S&P 500 (-50% EVIC Inflation-Adjusted WACI)	7% Self-Decarbonization Trajectory			
Nov. 30, 2020	254.77	254.77	127.38	127.38	127.38	121.01	110.81
Feb. 26, 2021	247.89	265.05	132.52	125.09	125.09	118.84	113.29
May 31, 2021	220.28	255.88	127.94	122.84	122.84	116.70	87.10
Aug. 31, 2021	203.74	251.05	125.52	120.64	120.64	114.60	83.22
Nov. 30, 2021	203.41	252.16	126.08	118.47	118.47	112.54	91.86
Feb. 28, 2022	208.72	249.74	124.87	116.34	116.34	110.52	108.59
May 31, 2022	212.23	241.28	120.64	114.24	114.24	108.53	106.64
Aug. 31, 2022	220.99	243.93	121.97	112.19	112.19	106.58	106.58
Nov. 30, 2022	224.51	254.06	127.03	110.17	110.17	104.66	104.66
Feb. 28, 2023	226.67	251.32	125.66	108.19	108.19	102.78	102.78

Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of Feb. 28, 2023. The S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index was launched March 8, 2021. All data prior to index launch date is back-tested hypothetical data. Past performance is no guarantee of future results. Table is provided for illustrative purposes and reflects hypothetical historical performance. Please see the Performance Disclosure linked at the end of this post for more information regarding the inherent limitations associated with back-tested performance.

Exhibit 2: Index Decarbonization Performance



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of Feb. 28, 2023. The S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index was launched March 8, 2021. All data prior to index launch date is back-tested hypothetical data. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes and reflects hypothetical historical performance. Please see the Performance Disclosure linked at the end of this post for more information regarding the inherent limitations associated with back-tested performance.

同時に、この指数は他の様々な目標を達成することも目指しており、直近のリバランス時点で実際にそれらの目標を達成しています。

- この指数の加重平均 1.5°C気候移行経路バジェット・アラインメント⁴はゼロであり、これは指数レベルで 1.5°C気候シナリオに適合していることを示唆しています⁵。
- この指数の加重平均 S&P DJI 環境スコアは、リバランス時点で求められる最低水準（72.42）を達成するとともに、原指数のスコア（65.61）を上回りました。
- この指数において、気候変動への影響が大きいセクターの売上高エクスポージャーは、原指数の売上高エクスポージャーと同等以上でした。これは、[EU 気候移行ベンチマーク（EU CTB）](#) および [EU パリ協定適合ベンチマーク（EU PAB）の最低基準](#) に合致しています。
- この指数では、温室効果ガス排出量に関する開示が不十分であると判断された企業へのエクスポージャーを低く抑えており、メソドロジーにより許容される最大エクスポージャーを大幅に下回る水準となっていました。
- この指数では、化石燃料資源を保有する企業へのエクスポージャーがゼロでした。メソドロジーでは、対象ユニバースにおいてこれらの企業へのエクスポージャーの上限を 20%に定めています。
- 指数レベルの物理的リスク・スコア（31.37）は、メソドロジーで定められたリバランス時点の水準（31.52）を下回り、さらに原指数のスコア（35.02）も下回っていました⁶。
- この指数におけるブラウン・レベニュー（環境に負荷をかける事業からの売上高）に対するグリーン・レベニュー（環境に負荷をかけない事業からの売上高）の割合は、メソドロジーに定められている通り、原指数の 4 倍以上となっていました。

Exhibit 3: Index Optimization Constraints Performance

Index Optimization Constraint	S&P 500	Threshold Measure	S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index
1.5°C Climate Scenario Transition Pathway Budget Index Alignment	236.91	≤0.00	0.00
Weight of Eligible Science Based Targets Companies	0.00%	N/A	0.00%
Weighted-Average S&P DJI Environmental Score	65.61	≥72.42	72.42
High Climate Impact Sectors Revenue Proportion	62.17%	≥62.17%	62.17%
Weight of Carbon Emissions Non-Disclosing Companies	10.22%	≤11.24%	5.64%
Fossil Fuel Reserves	522.00	≤104.40	0.00
Weighted-Average Physical Risk Score	35.02	≤31.52	31.37
Green-to-Brown Revenue Share Ratio	0.8463	≥3.3851	3.3851

Source: S&P Global Sustainable1 and S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of Feb. 28, 2023 (the S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index's rebalance reference date). Past performance is no guarantee of future results. Table is provided for illustrative purposes.

S&P 500 ネット・ゼロ 2050 パリ協定準拠気候サステナビリティ・スクリーンド指数は、様々な気候変動目標、環境目標、および持続可能性目標を達成するように設計されており、この指数は実際にこれらの目標を達成しています。

¹ EU 気候移行ベンチマーク (EU CTB) および EU パリ協定適合ベンチマーク (EU PAB) の最低基準に関する欧州議会および欧州理事会の規則 (EU) 2016/1011 を補足する 2020 年 7 月 17 日の委員会委任規則 (EU) 2020/1818。 <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/PDF/?uri=CELEX:32020R1818&from=EN>

² 現金を含む企業価値 (EVIC) 百万ドル当たりの二酸化炭素換算排出量 (tCO₂e/USDmn) として計算されます。計算方法の詳細については、 [S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index Methodology](#) の制約関連の定義セクションにおける「加重平均炭素強度 (WACI)」を参照ください。

³ 「加重平均炭素強度 (WACI)」を「現金を含む企業価値 (EVIC)」インフレに調整する方法については、 [S&P Paris-Aligned & Climate Transition Index Family Benchmark Statement](#) の EU が求める ESG 開示付属資料のパート 4、セクション 3 の「インフレ調整」を参照ください。

⁴ 計算方法の詳細については、 [S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Sustainability Screened Index Methodology](#) の制約関連の定義および最適化制約セクション、および [S&P Dow Jones Indices: ESG Metrics Reference Guide](#) を参照ください。

⁵ 測定値がゼロ、またはゼロ未満の場合は、指数レベルで 1.5°C 気候シナリオに適合していることを意味していません。

⁶ スコアが低い場合、指数レベルで物理的リスクへのエクスポージャーが低いことを意味しています。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。 [免責条項](#)をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S & P グローバルの一部門である **S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** 2023 年。不許複製。**Standard & Poor's, S&P**、は、S & P グローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC（以下「**S&P**」）の登録商標です。「**ダウ・ジョーンズ**」は、**ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC**（以下「**ダウ・ジョーンズ**」）の登録商標です。商標は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC**、**ダウ・ジョーンズ**、**S&P** 或いはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、第三者が提供し、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**の指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** は投資顧問会社ではなく、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**によるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。**S&P** の米国のベンチマーク指数及び**ダウ・ジョーンズ**の米国のベンチマーク指数の終値は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**が、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は **S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**がサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**による事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**の一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「**Indexology**」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト www.indexologyblog.com よりご登録いただくと、更新の都度メッセージが届きます。